

北見市における景気動向調査報告書

< 第 I 四半期 >

北見商工会議所

I. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

(1) 調査時点 平成18年6月26日

(2) 調査対象期間 平成18年4月～6月期実績および平成18年7月～9月期見通しについて調査した。

2. 調査対象

北見市に所在する企業を対象に、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種150社を往復ハガキにより調査した。

3. 回収状況

業種	企業数	対象企業数	回答企業数	回答率
製造業		30社	18社	60.0%
建設業		30社	23社	76.7%
卸売業		30社	21社	70.0%
小売業		35社	13社	37.1%
サービス業		25社	12社	48.0%
合計		150社	87社	58.0%

注) 本調査結果の中で、D・I値とある記号は、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)で好転企業割合から悪化企業割合を差し引いた値を示す

Ⅱ．概 況

《 全 体 の 動 き 》

平成18年度第Ⅰ四半期<4月～6月>の北見市における業況は、前年比で「好転企業」17.3、「悪化企業」49.4、「好転」から「悪化」を差し引いたD・I値は△32.1となっています。このD・I値を前期調査<17年度第Ⅳ四半期>と比較してみると前回△36.9→今回△32.1と4.8ポイント好転、前期に引き続き好転傾向を示しています。また、前年同期比(△40.8)との比較でも8.7ポイント好転しており、前回調査の結果同様小幅ではあるが引き続き改善の傾向を示しています。

今回の業況を業種別で見ると製造業D・I値△38.9、建設業D・I値△56.6、卸売業D・I値△19.1、小売業D・I値△15.5、サービス業D・I値△16.7となっており、前年同期調査と比較すると製造業についてはほぼ同じ、建設業は17.5ポイントの悪化傾向を示しているが、他の業種は好転、特に小売では20ポイントの好転、サービス業では58ポイントの大幅な好転を示し、業種間の差があるものの全体的には改善傾向の状況にあります。

また、来期の見通しを全業種で見ると「好転企業」11.5%「悪化企業」49.4%でD・I値△37.9と、前年同期見通し(△46.5)に比べ8.6ポイント好転しており、数値はまだ高いものの明るい兆しが見える来期見通しとなっています。

《 業 種 別 の 動 き 》

1) 製 造 業

生産高

前年比で「増加企業」5.6%、「減少企業」50.0%、D・I値△44.4と前年同期に比べ25.7ポイントの大幅な悪化、前期調査との比較では2.7ポイントの改善を示していますが数値は高く、変わらず厳しい状況にあります。

採 算

前年比で「好転企業」5.5%、「悪化企業」38.9%、D・I値△33.4と前年同期に比べ2.0ポイントの好転、また、前期調査との比較でも37.2ポイントと大幅に改善しており、前回の落ち込み状況から再び回復傾向にあります。

来期見通し

業況D・I値△33.3、生産高D・I値△33.2、資金繰りD・I値△38.9と、前年同期に比べすべて悪化傾向を示しています。前期調査との比較では業況・生産高D・I値は11ポイントの好転を示していますが、資金繰りD・I値が11ポイントの悪化を示しており、依然として厳しい見通しとなっています。

2) 建 設 業

完成工事高

前年比で「増加企業」21.7%、「減少企業」56.6%、D・I値△34.9と前年同期に比べ8.7ポイントの好転傾向を示しており、前期調査との比較では同数値で横ばいで、前回同様少し明るい兆しが見えつつあるものの数値は高く、

依然として厳しい経営環境となっています。

採 算

前年比で「好転企業」13.0%、「悪化企業」74.0%、D・I値△61.0と前年同期に比べて0.1ポイントの悪化、前期調査との比較でも29.2ポイントの大幅な悪化傾向を示しており、前回の改善傾向から再び厳しい状況となっています。

来期見通し

業況D・I値△56.5、完成工事高D・I値△65.2、資金繰りD・I値△47.8と前年同期と全てのD・I値が悪化傾向を示しているが、前期調査との比較では資金繰りD・I値以外は改善傾向、資金繰りD・I値は大幅な悪化傾向を示しており、一部明るい兆しが見えつつあるものの依然として厳しい見通しとなっています。

3) 卸 売 業

売 上 高

前年比で「増加企業」14.3%、「減少企業」33.3%、D・I値△19.0と前年同期と比べ12.8ポイントの好転傾向を示しているが、前期調査との比較では14.3ポイントの悪化傾向を示しており、3期続いていた改善傾向がここにきて大幅におちこみ、厳しさの見える状況となっています。

採 算

前年比で「好転企業」9.5%、「悪化企業」38.1%、D・I値△28.6と前年同期に比べ3.2ポイント改善傾向を示しておりますが、前期調査との比較では24.0ポイントと大幅な悪化傾向を示しており、暗い状況となっています。

来期見通し

業況D・I値△23.8、売上高D・I値△19.1、資金繰りD・I値0と前年同期に比べすべてのD・I値が大幅な改善傾向を示しており、特に業況・売上高D・I値とも25ポイントの大幅な好転傾向を示しています。前期調査との比較でも全てのD・I値が小幅ですが回復傾向を示しており、前回だけ足踏み状態になったものの1年前から引き続き明るさの見える状況となっています。

4) 小 売 業

売 上 高

前年比で「増加企業」23.1%「減少企業」46.1%、D・I値△23.0と前年同期に比べ12.7ポイントと改善しており、前期調査との比較でも0.2ポイント改善、前回に引き続き少しずつですが明るさの見える状況となってきています。

採 算

前年比で「好転企業」8.3%「悪化企業」50.0%、D・I値△41.7と前年同期に比べ10.8ポイントの悪化、前期調査との比較でも18.5ポイントの大幅な悪化傾向を示しており、厳しい経済環境となっています。

来期見通し

業況D・I値△38.4、売上高D・I値△38.4、資金繰りD・I値△38.4と前年同期と比べ業況・売上高D・I値は好転傾向ですが資金繰りD・I値は悪化傾向、前期調査との比較では全てのD・I値が悪化傾向を示し、特に業況・売上高D・I値とも30.1ポイントの大幅な悪化を示しており、厳しい来期見通しとなっています。

5) サービス業

売上高

前年比で「増加企業」16.7%、「減少企業」50.0%、D・I値△33.3と前年同期に比べ33.4ポイントと大幅な改善傾向を示しており、前期調査との比較でも10.6ポイントの改善傾向と、数値はまだ高いものここに来て少し明るさの見える経済環境となっています。

採算

前年比で「好転企業」8.3%、「悪化企業」41.7%、D・I値△33.4と前年同期に比べ25.0ポイントの大幅な改善傾向を示し、前期調査との比較でも10.5ポイント改善されており、数値はまだ高いもの前回に引き続き少し明るさの見える状況にあります。

来期見通し

業況D・I値△33.3、売上高D・I値△33.3、資金繰りD・I値△41.7と前年同期に比べ資金繰りD・I値は同数値で横ばい、他のD・I値は16.6ポイントと大幅な改善傾向を示しているが、前期調査との比較では業況D・I値は若干改善傾向を示しているが他のD・I値は若干悪化傾向にあり、前回に引き続き厳しさが見える来期見通しとなっています。

業 種 別 経 営 上 の 問 題 点

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
製 造 業	諸 経 費 増	得 意 先 減 少	同業者間の競合	人 件 費 増	人 材 不 足
建 設 業	得 意 先 減 少	同業者間の競合	諸 経 費 増	人 件 費 増	売掛金回収難
卸 売 業	得 意 先 減 少	同業者間の競合	人 材 不 足	諸 経 費 増	人 件 費 増
小 売 業	得 意 先 減 少	同業者間の競合	諸 経 費 増	人 材 不 足	人 件 費 増
サービス業	同業者間の競合	諸 経 費 増	得 意 先 減 少	人 件 費 増	人 材 不 足
合 計	同業者間の競合	得 意 先 減 少	諸 経 費 増	人 材 不 足	人 件 費 増

※ 問題点は、各業種とも3つ選択。